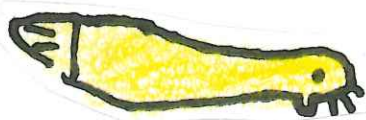
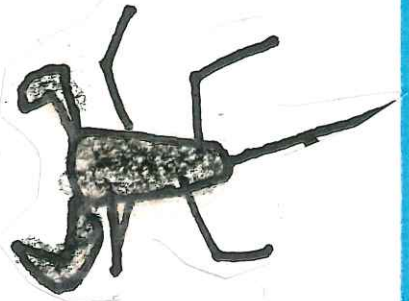
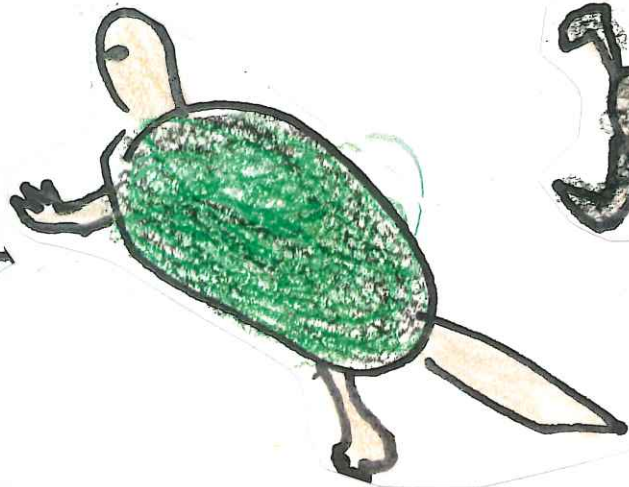
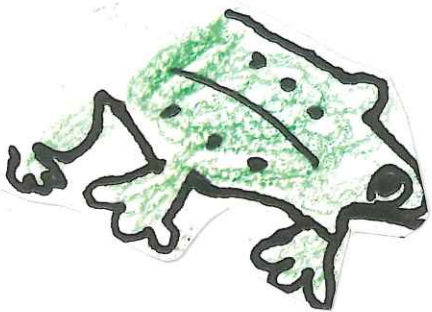


田んぼや川にあわ

生き物 ^{ハナ} 相マヅクシなとい

かんた相記

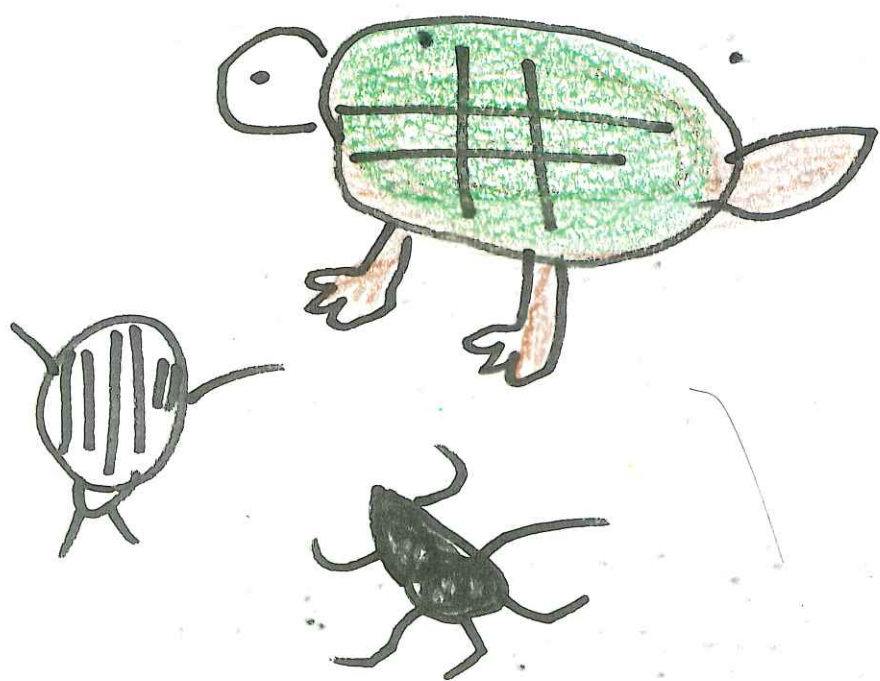
2





はい ぬに

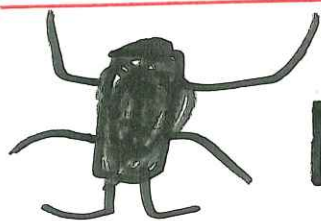
2年生の時も、水生生物のか
んさつもしましたが、今年もま
い日、近くの川や田んぼに
行き、たくさん生きものを
かんさつしようと思います。



もくじーはっけんした虫たちー

- 1 オタマジャクシ
- 2 ヤゴ
- 3 カエル
- 4 オオスズメバチ
- 5 ゲンゴロウ
- 6 アカイライモリ
- 7 トサガエル
- 8 サワガニ
- 9 マツムシ
- 10 アマガエル
- 11 アメンボ
- 12 マルタニシ
- 13 フナ
- 14 アメリカザリガニ
- 15 ママエビ
- 16 ヨシノボリ
- 17 イトトンボのヤゴ
- 18 メダカ
- 19 ツチガエル
- 20 ママガエル

- 21 ハイボタル
- 22 ハヤ
- 23 シオカラトンボ
- 24 キリギリス
- 25 ミズヌマシ 蚊
- 26 カマキリの幼虫
- 27 オニヤンマ
- 28 ショウリョウバッタ
- 29 エミ
- 30 シュアメンボ
- 31 シジミ
- 32 コオニヤンマのヤゴ
- 33 サナエトンボのヤゴ
- 34 ドンカメキ
- 35 子ザリガニ
- 36 ハイイロゲンゴロウ
- 37 ミズヌマシ
- 38 メダカ赤ちゃん
- 39 クチボソ(モツエ)



100

こんなに多くの生き物がとれます。

40 モロコ

401 ゆるい

4月8日(火) はれ

22°C



今年 はじめての オタマジャクシ

足は 今から生える

体長 2cm



今年 はじめての ヤゴ

(ギンヤンマ)



今年 はじめての ヤゴ(2)

(カイトンボ)

またはイトトンボ



今年
はじめての
カエル



今年 はじめての オオスズメバチ

4月9日(水) 晴 23°C



今年初めてのゲンゴロウ

この日に 2匹つかまえた。

体長 3~4cm



ヤゴ

(ギンヤンマ)



↑アカハライモリ

ひらが黒い トノサマガエル



4月10日(木)雨α5晴

22°C



オニヤンマの ヤゴ ← 前のページのヤゴとちがう



ヤゴ

(イトトンボのなかま)



↑
サワガニ



↑ アカハライモリ (前のページのヤゴにもとうじょう)

← つかまえた。
この日にふりき



4月11日(金) 晴れ 23℃



ミズスマシ

この日に3匹きつかまえた。

ミズスマシ

この日に10匹きつかまえた。



ヤブクギンヤシロ

1年中とれる。

4~9月に習性

えさ... 小動物 木

4月15日 晴れ 16℃

今年はいじめての

マツモムシ

えいごでツバキスズメ
日本語にやくするとせおぎせんしゅ

えさ... 小さな虫など



4月17日(木) くもり 26°



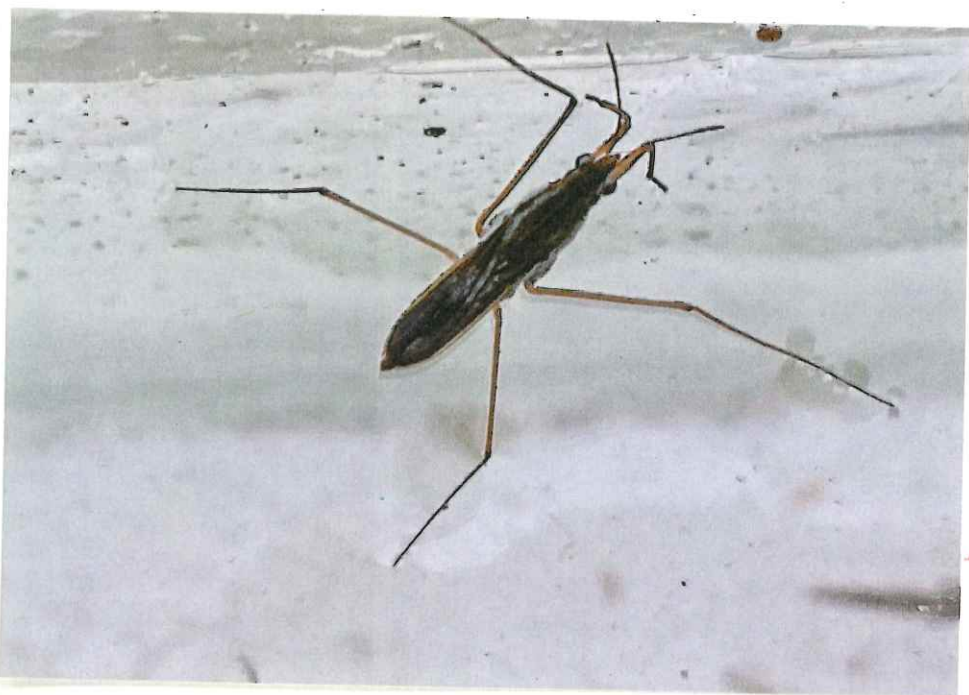
今年はいじめての

アマガエル

木の上でくらす。

アマガエルのきほんデータ
体長 4~5cm
生きた虫かきス
うがえたはらみはのどく

4月18日(金) 雨のち晴れ
27°



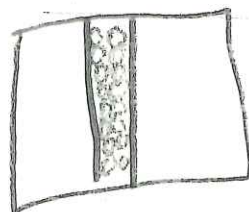
アミボ

とれた場所 アマガエルと同じ

手でさすたりすると、あ
めのようかじあいかさる
だからあかじあいかさる

体長 11~16mm

※ 幼虫
体長 1cm



アミボのたまご
1mm以下のたまご
ならみつける

4月21日 はれ 29°C



← ジャンボタニシ が
たまごをうけた。

ピンクのフナが
30こくらいある。

4月24日 くもり 24°C



今年初めての魚
名前は フナ

とれた場所 川

体長 8~12cm

5月3日

はれ

25℃



川でとれた。

今年初めての

アメリカザリガニ



この日に、3匹

つかまえた。

体長 8~10cm

5月3日

はれ

25°



子ザリガニ

体長 3~4cm

親に くらべて

少し 小さい。



名前 ママエビ

体長 1~3cm

この日に たくさん
つかまえた。

5月3日

はれ

25°



今年 はじめての

ヨシノボリ

この日に 2匹

つかまえた。

体長 5~6cm



イトトンボのヤゴ

この日に たくさん
つかまえた。

体長 5~6cm

えさ

ミミコ

5月3日 はれ 26℃



サワガニ

この大きさの

カニは、今年はい

じめて。



今年 はじめての

メダカ

少し 大きく

なっていた。

5月9日 くもり 20℃



ザリガニが

たっぴもした。

ぬいだからは

食べてしまう。

5月15日 はれ 27℃

ツチカ"エル



せなかに イボ

みないなものが

ある。えさは生きた。

田んぼで

みつけた。

5月20日 くもり 30℃
ヌマガエル



体のまん中に
白い線が
はいていた。

5月25日 くもり 田んぼで
みつけた。



ヘイケボタル (め)

夜 7時 30分ころ

田んぼの おくの

草の中で 発見

5月25日 くもり 21℃



ホタルが

とれる時間は
夜7時30分
から8時30分。



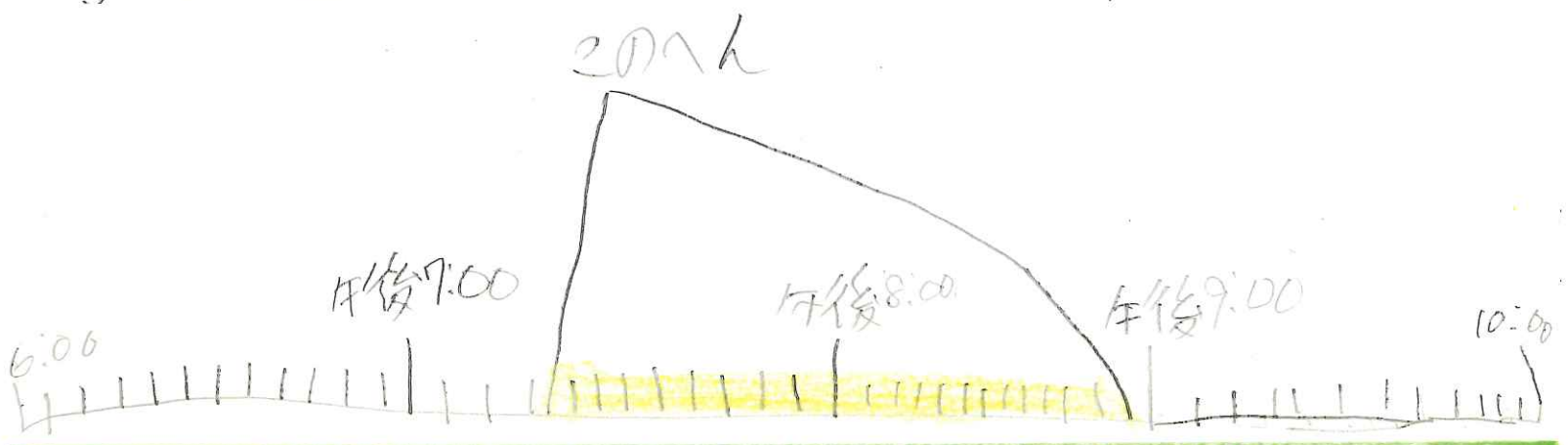
10日くらいたら

ホタルは

ほとんど

いなくなった。

ホタルがとれる時間



5月27日

はれ

28°



ハヤ

体長4cmくらい
水がきれいな
川などにいる。

6月4日

はれ

28°



キリギリス

家のおでみつけに。

足をもつと

足がとれて

しまう

6月5日 はれ 29°



ドンコ

川の中に

いました。

体長 5cm

もっと大きくなる

6月7日 <も> 28°



シオカラトノボ

体は、

みず色を

していた。

体長 6cm

目の色は、

緑色

6月13日 雨のちくもり 30℃



キリギリス

キリギリスは、

夜、

「ギーー。ギーー」

と大きな声で
鳴きます。

6月25日

曇りち雨 28°



ミズスマシの
幼虫

体長 4cm~5cm

田んぼで

見つけた。

↑えさの



小さな生き物

6月26日

曇りち雨

28°



カマキリの幼虫

にわで見つけた

えさ……

バッタの幼虫

ほかに？

カマキリの成虫と

幼虫のちがいは

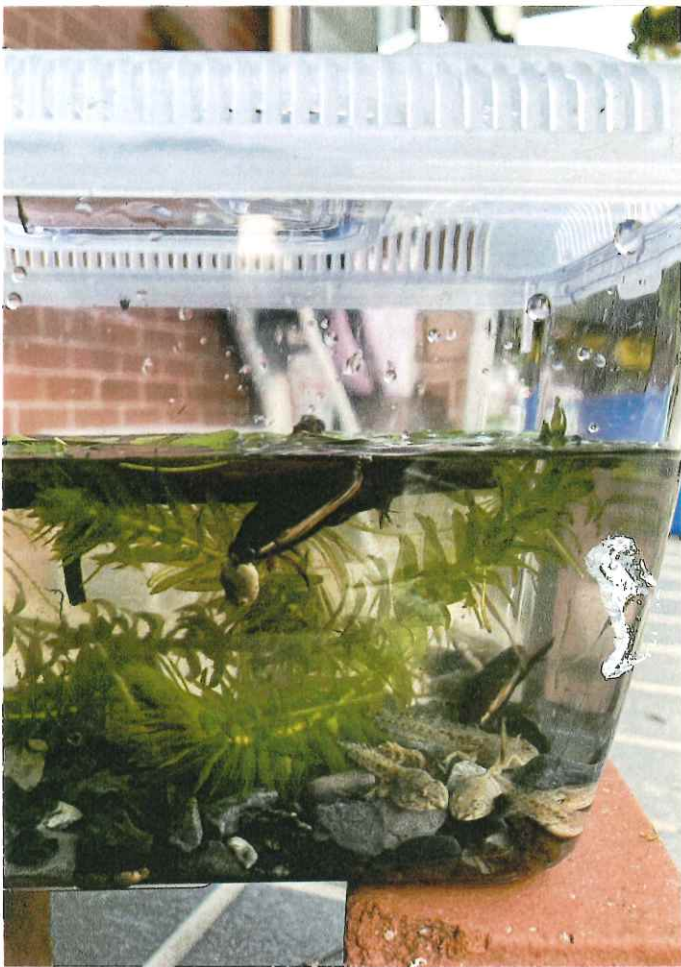
はねがないのが幼虫です

6月30日 晴れ 34°



イトトンボのヤゴ
川でとれた。
体長5〜6cm

7月3日 晴れ 36°



4月にとったゲンゴロウ
元気に生きている。
オタマジャクシを
食べた。

7月3日

日青れ

36°



ゲンゴロウ

おたまじゃくし

を食べた。

7月4日

日青れ

37°



オニヤンマ

体長 10cm 大きい

オス (はらの先が

とがっている)

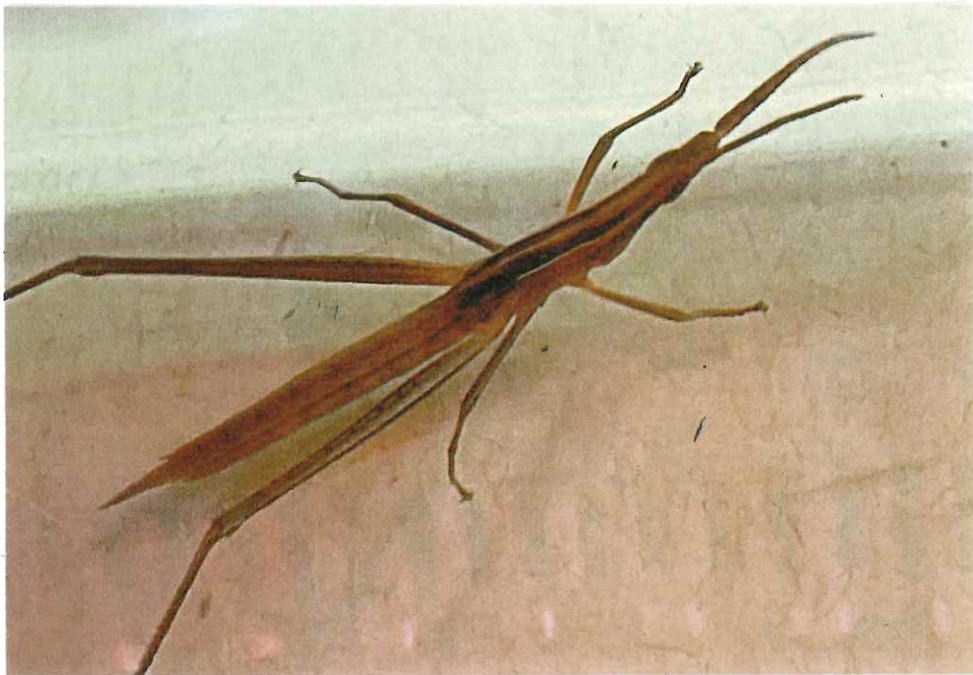
夕方に 多く

とんでいる

7月6日

晴水

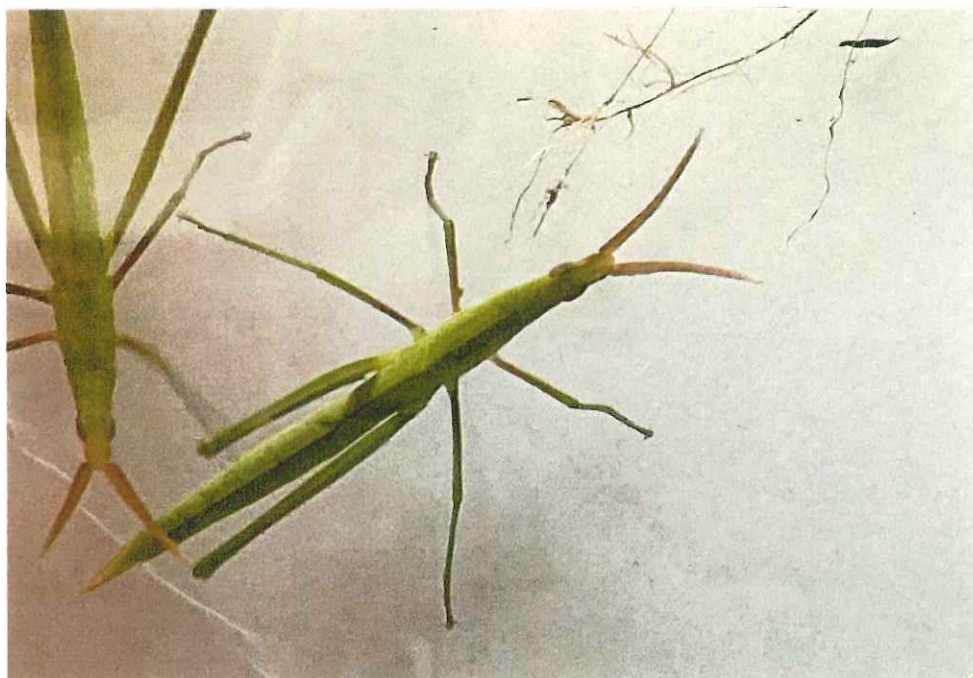
34°



ショウリョウバッタ

赤色だった。

7月8日



ショウリョウ

バッタ

緑色だった

うすい色のバッタもいた

7月11日：雨のちくもり 33℃



セミがせいで虫に
なる前の幼虫。

家のモチの木で
朝見つけた。

やく1時間半ぐら
いでうい
ゆっく、元気のないうち
動いていた。

7月11日



田んぼに

カエルのたまごが、うい
からみたいけものか

あった。
気温がずっと高く、晴れ
ているので、田んぼにのろ

がたくさんういていた。今日は雨で、のろは、
しがんでいた。

7月15日

晴れ 31℃



家の庭の木に

せみのぬけがらが

ありました。

7月18日

雨のち くもり 27℃



ヌマガエル

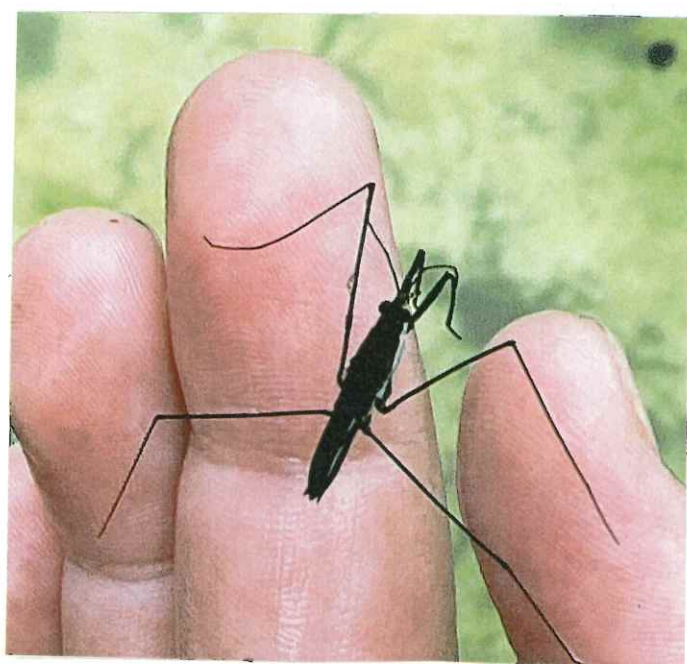
田んぼにいました

気温が少し低

かったので、田んぼにも
カエルがいました。

7月18日

雨のちくもり 27℃



アメンボ

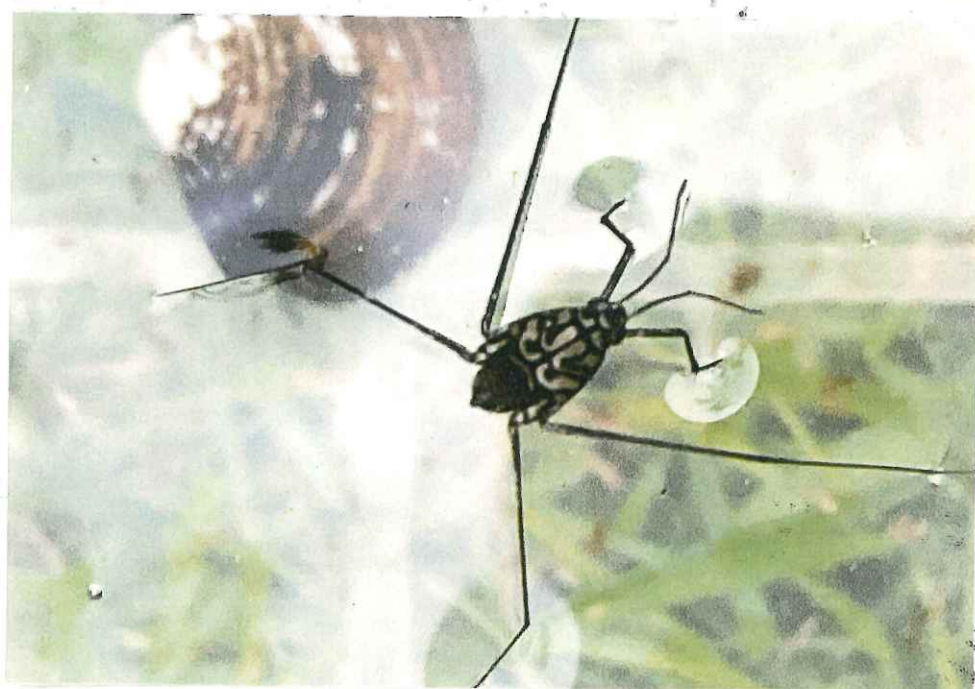
あめのようなにおいがする。

田んぼに水か

あり、アメンボを見つめました。

7月19日

くもりのち雨 35℃



シマアメンボ

羽があるのと

ないタイプがいる。

体長 約5mm

黒くて足が長い

※ 毎日川にたくさんいた。

7月19日

曇りのち雨 35°

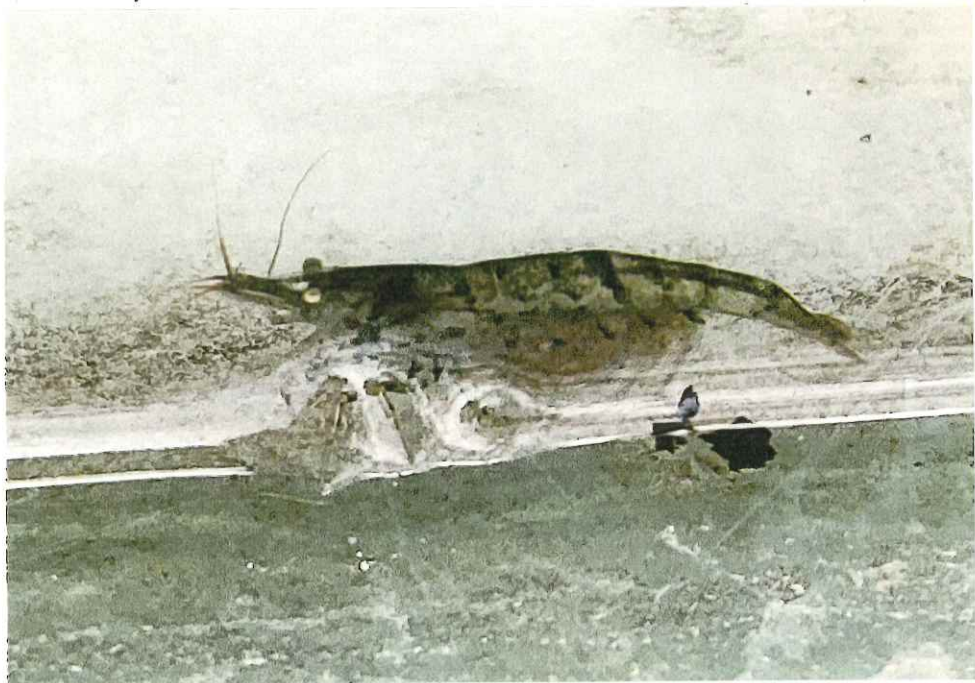


ヤコ

小野のせんすい
でとれました。

川の水がきれいでした。

えさ  ミジンコ  アカハシ  イトズカカの幼虫
※しゅるいによってえさがちがいます。



ヌマエビ

かんたんにつかま
えられた。

(小野のせんすい
でとれました。

7月19日

曇のち雨

35°



サワガニ

水のきれいな川
に サワガニ かり
いました。

（小、里予のせんすい）



シジミと

ヨシノボリ

シジミは、水そうの
そういやさんの水の
きれいな川にすまう

ヨシノボリは、川の右
などへへぼりつい
ていることがある

（小、里予のせんすい）

※シジミは、土にもぐっていることもある。

7月21日 晴れ 37°



江津湖

でとれた。

コオニヤンマ

のヤコ

平たくて、うちわの
ような形 35mm

7月21日



江津湖

でとれた。

イトトシタビの

ヤコ

7月21日

晴れ

37℃



江津湖で

とれた。

サナエトリボのヤゴ

すなやいにもぐっている
ことがある。

7月21日



イトトリボのヤゴ
えづこでとれた。

江津湖では、3しるいのヤゴがい
いました。

7月21日

ヨシボリ



えづこア とれち

少し小さめ。

はらにはきゅうばん

みたりなのカあり。

川や池の石などに

へばりつくとかい
できる。

7月21日

ドンコ



ヨシボリとちが

って、へばりつく

ことができない。

きゅうばんみた

いなものが。

ヨシボリにはあ
て、ドンコにはない。

7月21日

晴れ



子ザリガニ
体長6~7cm
少し大きめ

し江津湖でとれた)

7月21日



5月は、大きな
ザリガニがとれ
たけれど、きょうは
小さな子ザリガニ
えびでとれた。

ヌマエビ

たまごは、3日くらいで
ふ化する。

色が黒い

7月25日

はれ 35°



ヤゴ

田人ほてとれた。

7月25日

はれ 35°



にわでせみがとれた。

アブラゼミ

体長 8~9cm

「ワシワシ」となく

7月25日

174 35°



ナミ ケンゴロウ

つかまえてから3か月た、
7也、元気に生きている。

ヤゴも食べている

様子 ほつ ゲンゴロウは



7月25日

124 35°



ハイイロゲンジボウ

田人ほをも、動かし回、て、
とても元気。

夕方、田んぼで

とりました。

体長 2~3cm

色は1色・黒

ナミゲ・ダロウに知て、ハアしハさいの

7月25日 はれ 35°



クチボソ(モツガ)

川でつかまえた

細長くて

きれいな青色の

すいが入っている

ハヤにくらべて、少し大きい。

→ 体長10cm~12cm

7月25日

大きくなると
16cm



ミズスマシ

アマガエル

ミズスマシ

体長4~5cm(幼虫2cm)

アマガエル

体長2~3cm(大きくなると5cm)

8月16日 はれ 36℃



ヨシボリ

江づ湖

体長 5~8cm

大きくなる

14cm

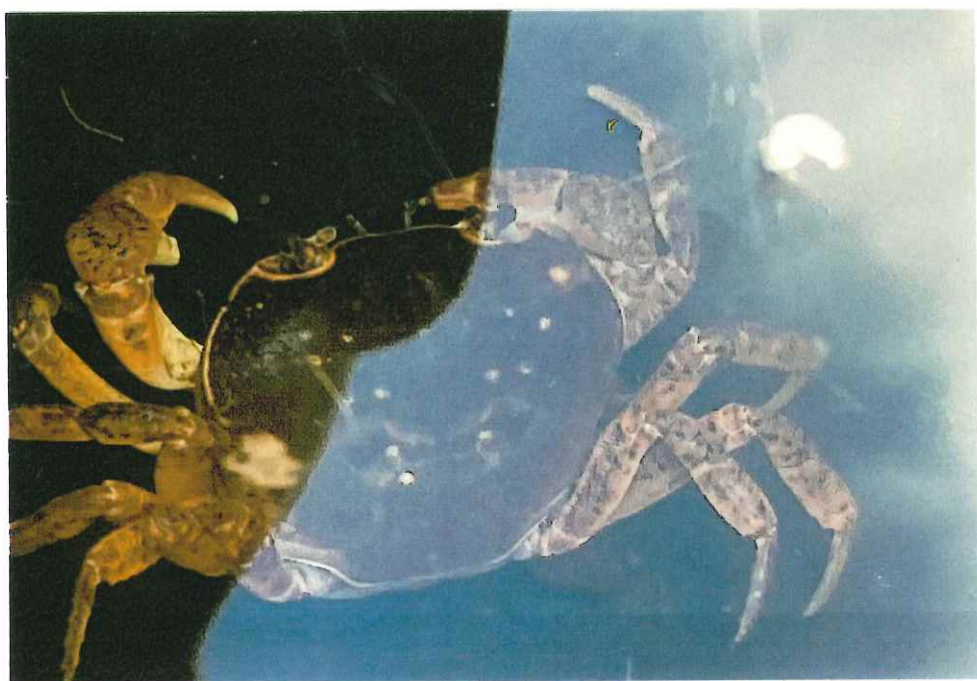
8月16日



江づ湖

8月16日

はれ 36°



サワガニ

シエブシ月



モロコ

シエブこ

川や池に、みつ
うにいる。

体長4~5cm

↓
大きくなると13cm

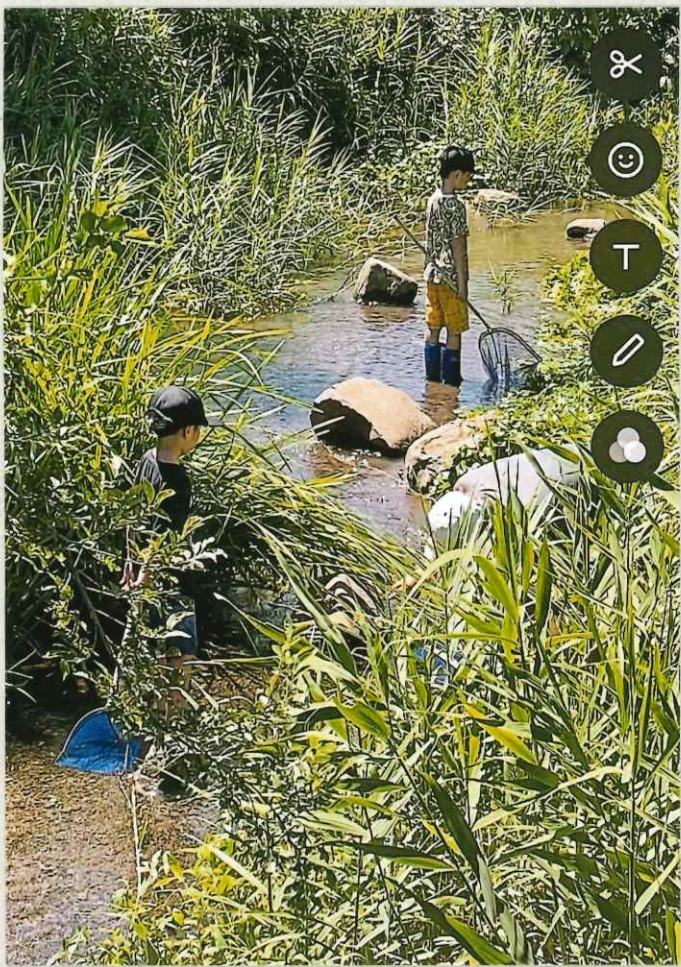
メダカ



シエブシ月

川の水があつく
ても死なない!

体長2mm~1cm



田んぼや川にすま

生き物

かんざつ日記2



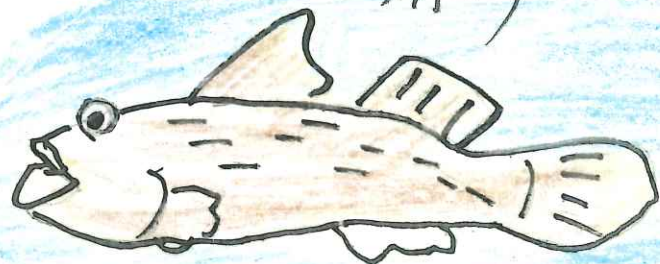
田んぼや川にすむ

生け物 ^{パート}

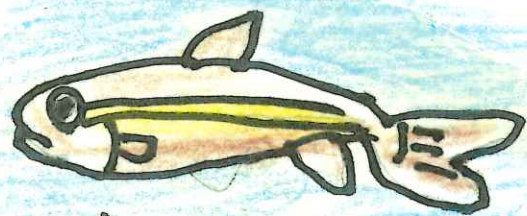
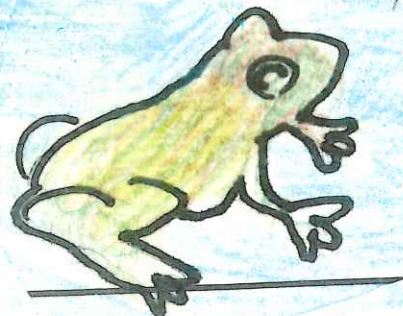
かんさつ日記

3

ヨシボリ



カシカガエル



カワムツ

吉松小 3年 森田さら

発見した生物たち

パート2からつづき

41 カラーギル ※1 ※2

42 ハイ

43 カマツ

44

45

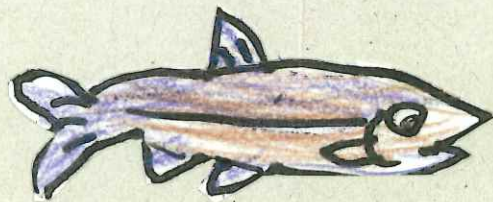
46

47

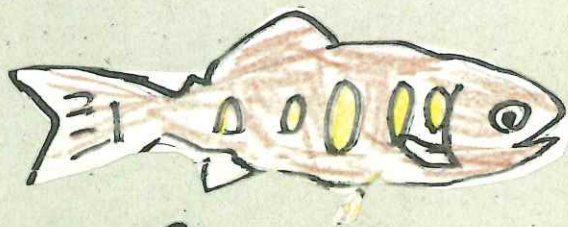
48

49

50



↑
ハヤ



↑
イワナ

ウグイ (イダ)



※全国できに数がへっている。
※外来種。生きたままの持ち出しがきんはされている。

8月16日 はれ 36°C



ドンコ

江ブシ胡

ヨシノボリのように

きゅうばんみたいなものが
ない。

ブルーギル



江ブシ胡

(とくでい外来生物)に
いていされていて、生き
たまのもち出し、いく
にかしたりすることがき
んしされている。

ハエ

江ブシ胡

べつめい ハヤヤマ
ベ。



8月16日 はれ 36℃



コオニヤンマ

江が湖

平べったい体

体長 30mm ~ 35mm

8月16日 はれ

2~4年かけて成虫になる



カクムツ

江が湖

川に、うっくに

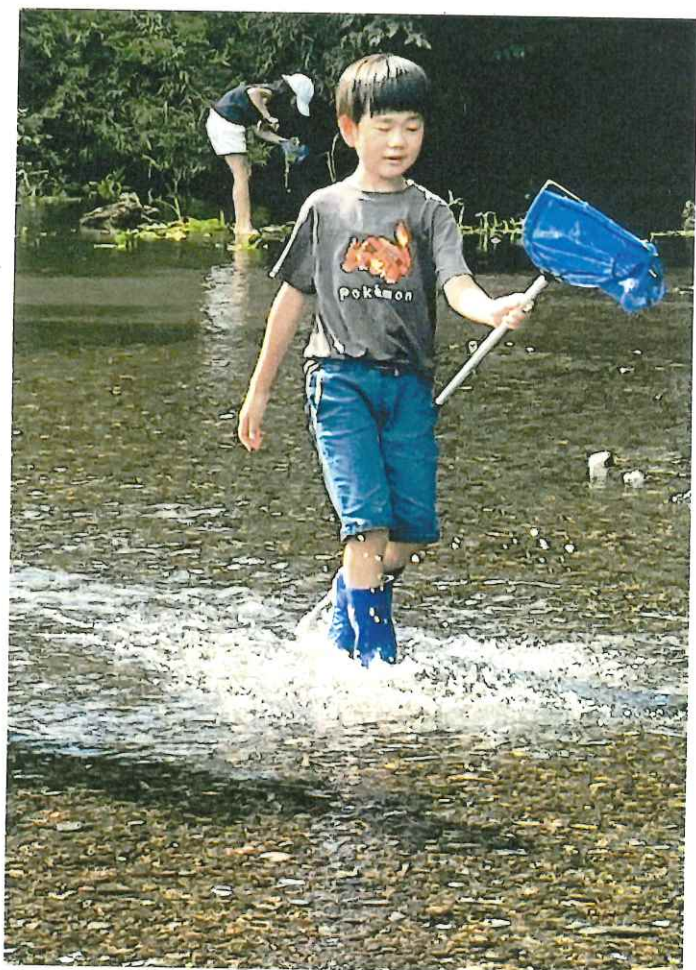
いる

体長 8~12cm

大きくなると

クチボソに似て、少し大きい

25cm



シエガ湖にかて

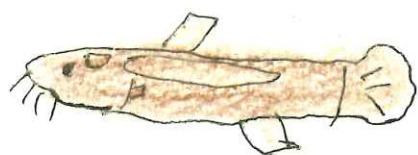
シエガ湖には

田んぼにはいない

たくさんの水生生物
がいた。

シエガ湖の水は、きれいで、うめたい。

18℃くらいだった。



↑
ドジョウ



石井 究のまとめ

① 去年さい集することができた

ホウネンエビ、ミズカマキリは、たくさん

の田んぼを見てまわったけれど、発見

できなかった。それは田んぼの水が

高かったことだけでなく、田んぼに

のろみみたいなものがういてきて、

たなかったことがいいた”と思う。

② シエブシ湖や小野のせん水などの

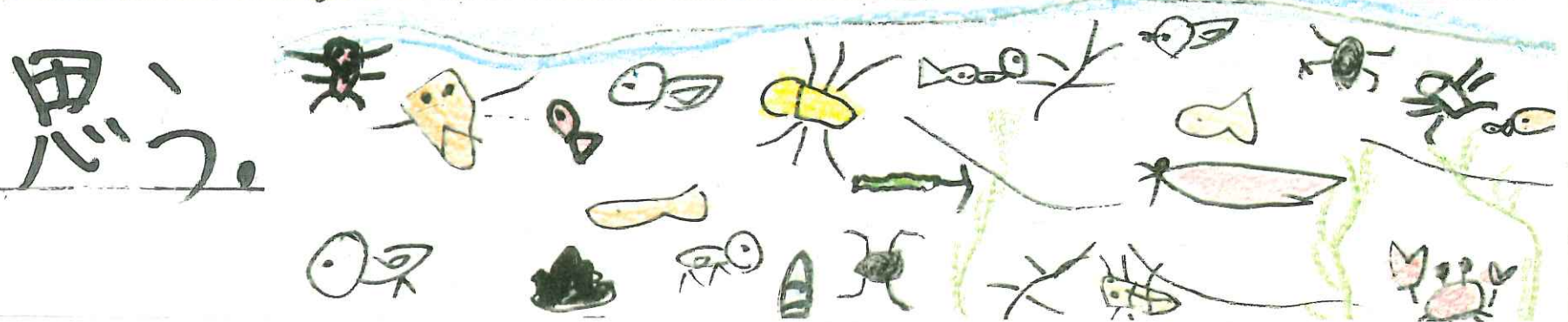
川では、田んぼとちがった生物を

たくさん発見できた。

川の水がきれいであることが、水生生物のしゅるいがちがらっている。

③生物が生きていくためには、かんきょう(天気・気おん・水しつ)がとっても大切である。自然を大切にしていきたい!!と思った。

④江戸・湖月や小野のせんくなど、川で、田んぼとちがう水生生物がとれたのは、水がきれいだったということだけでなく、かくれる場所が多く、生物がイ住みやすく、広くて魚が泳ぎやすいからだ!!と思う。



4月8日(火) はれ 23°



田んぼの横の水で、
オタマジャクシやゲン
ゴロウ、ヤゴ、カエ
ル、アカハライモリ、ミズ
スマシなどをつか
まえた。

4月18日(金) 雨のち はれ
27°



オタマジャクシ つかまえて
から10日

うしろ足がはえた。

4月18日(金) はれ27℃



木黄からみたオ
タマシヤクシ

4月23日(水) くもり 19°



つかえてから 2週間
前足がはえた

4月25日 はれ 22℃



つかまえてから16日

しっぽがバシ
ミじかくなった。

4月28日 雨のち はれ 22℃



つかまえてから19日

さらにしっぽが
ミじかくなった

5月1日(木) はれ



つかまえてから 3週間
だんだん しっぽが
みじかくなった。

5月3日



つかまえてから 24日
だんだん カエル
のようになってきた

5月5日



つかまえてから1か月

ほとんどしっぽが
みじかくなった。

5月8日



つかまえてから32日

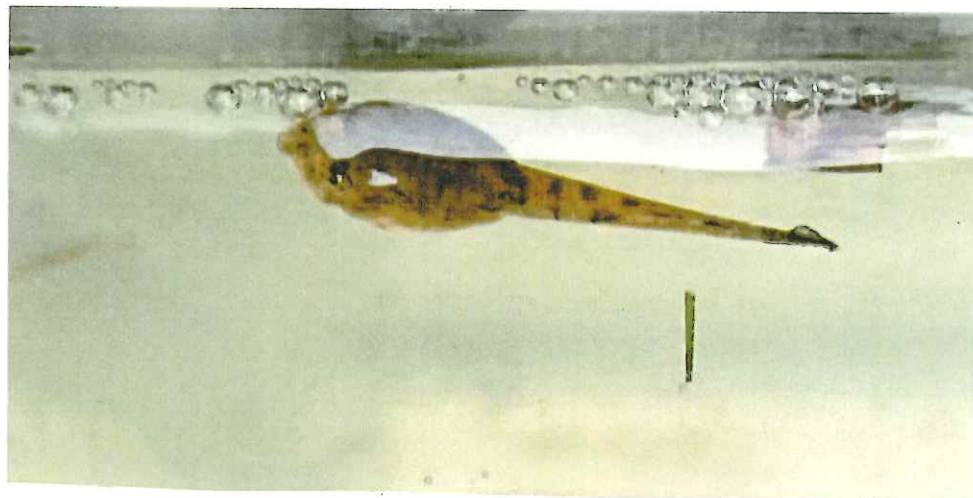
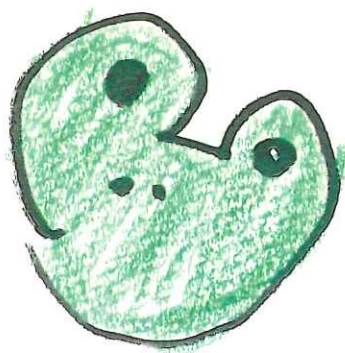
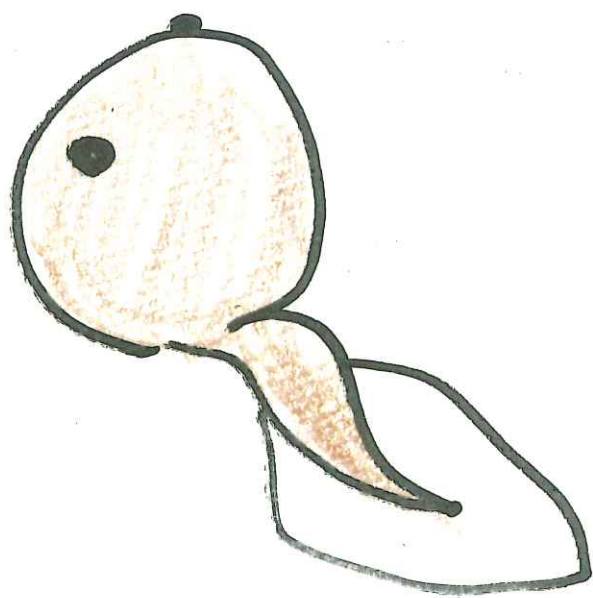
しっぽがなくなって
カエルになった。

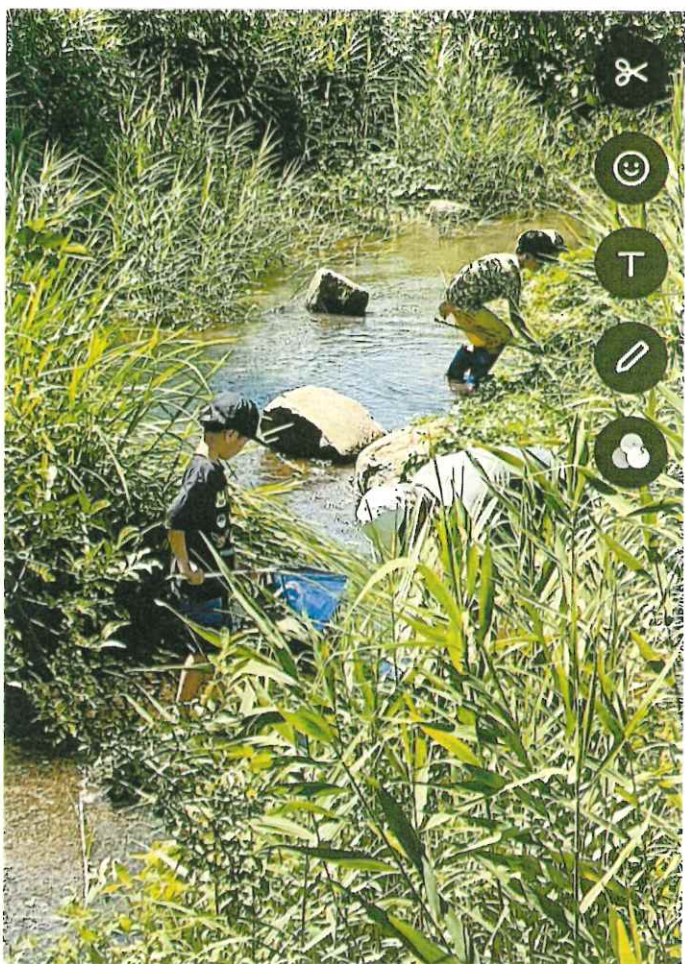
オタマジャクシをつかまえて わがったこと

・やく32日でカエルになったこと

・後ろ足が生えて、前足がはえたこと

・カエルになる前は水の中で生活していたこと





江ぶし湖で、
生き物を
さがしました。

江ぶし湖でつかまえた



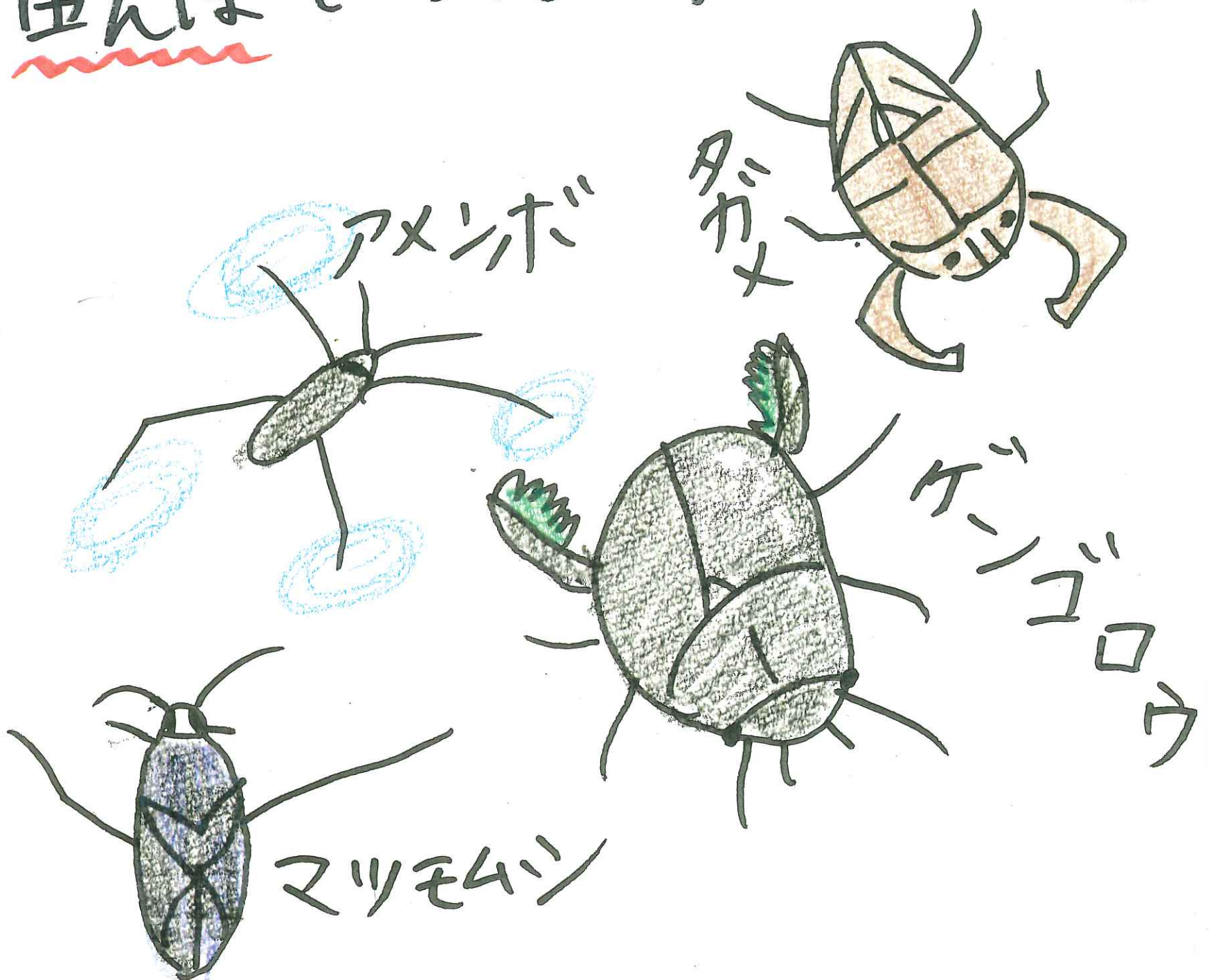
→
フナ



アメリカザリガニ
(5月3日)

水生こん虫をつかまえて わかったこと

- 水生こん虫も とがことかでできたこと
- にている水生こん虫も いたこと
- 田んぼで かなり多く とれたこと

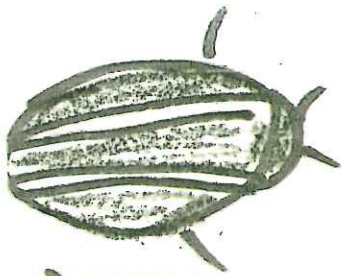




ゲンゴロウ

ゲンゴロウはカブトムシやクワガタとおなじでぶちかていふすかきけなくなりました。

ゲンゴロウのなかま



シマゲンゴロウ



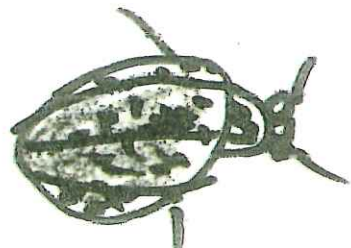
ミハカゲンゴロウ



ヒゲンゴロウ



コシマゲンゴロウ



ハイロゲンゴロウ

よねオスは光たかくが

いい

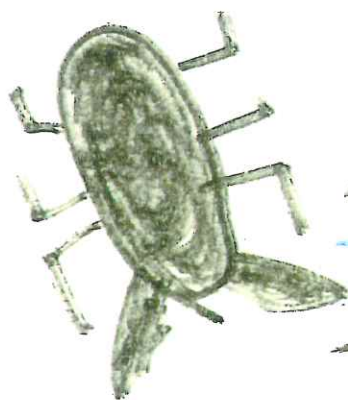
よう虫のイサ



よねオス



オコ



タガメ

よう虫



カメムシのなかまで日本
では大きい水生昆虫。

エサ



魚



オタマジャクシ



カエル

よう虫のエサ

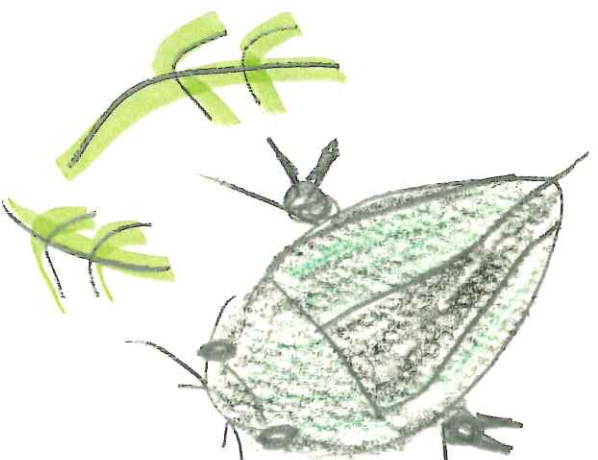


ミボリなど



オタマジャクシ

体長8.9cm



イナゴ

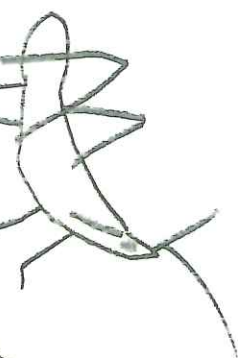
イナゴは、カブトムシや
クワガタなどと同じ甲虫のた
りたす水中を自由に泳ぎま
わって、きつうにおくさといは、とて
のめいよく、かたは、うき、うき、うき、
こんど、水の中、生活、して、ま、
の、く、く、く、く、く、く、く、く、く、
イナゴは、水の中、生活、して、ま、
の、く、く、く、く、く、く、く、く、く、
生、一、年、一、年、一、年、一、年、一、年、
に、一、年、一、年、一、年、一、年、一、年、
に、一、年、一、年、一、年、一、年、一、年、

1. ね

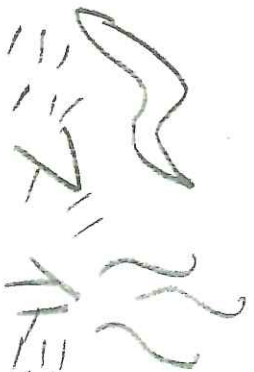
小魚

おたま

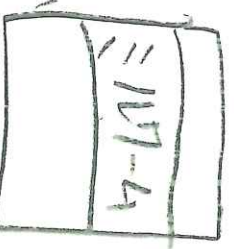
おたま



ハナ



ニ



ニ

食ベのこは、とりのそく。

ゲンゴロウの

①オスとメスの見分けか

・ゲンゴロウの前足
オスはえんばんに
なっている。うでのと
きメスをしかりとフ
くまうて、にがやないばう
にするため、メスは糸でくまうて
いる。

・ゲンゴロウの羽
オスは光たかがあつつや
つやしている。メスは木の
ような光たかはなく、表面に
糸田がいすじが入っている。

イ本長
35~40mm

アメンオビ



みじかにかんやうできるく生こん
虫。あめのよう なあまいにおいを
出すから、その名前がつけられた。



エニギハールワーム

こうが

よう虫



マツモムシ

えい こでバックスマー、にはおま
にやくして、せおぎせんしか。

よう虫 エズムシ

エサ



バブルワーム

ミズスマシ

山あいのなどの
 かんきょうな所が
池やぬまに
 いる。はるあきにか
 けて、きしにちがい
 水ぬんをまわし
 およいでいることが
 多い

よう虫



エサ

✕=
 小さいクモ



よう虫のエサ



赤虫

ガムシ



ゲンゴロウにた

らぶ、大がたの

せいこうちゅうさい

きんは数がへった

けと、山あいの

水草が多い、ため

池や水ろ、田んぼ

ではまだみれる、

この水生虫も



よう虫

エサ

MM

ツユクサ



ドジョウのしがし

よう虫のエサ



モリアリ貝



タニシ



ドジョウのしがし

コイムシ



タガメににいていますが、子タガメではありません。「子を世おら
虫」といういみがかした名前です。
よう虫



エサ



モアラ貝 けり物魚など 子がたのオマ
(オカワなど)

よう虫のエサ

イ本長



赤虫

2.4cm 黒くよう虫 0.2cm

※田んぼに多いモアラガイなどを食べる。

9月6日はね江づ湖



フナ



スズ"イビ"

9月6日 はれ 江づ湖



ウシガエルの
オタマジャクシ
ブルーギルと同じ
とくてい外来生物。

アメリカザリガニ

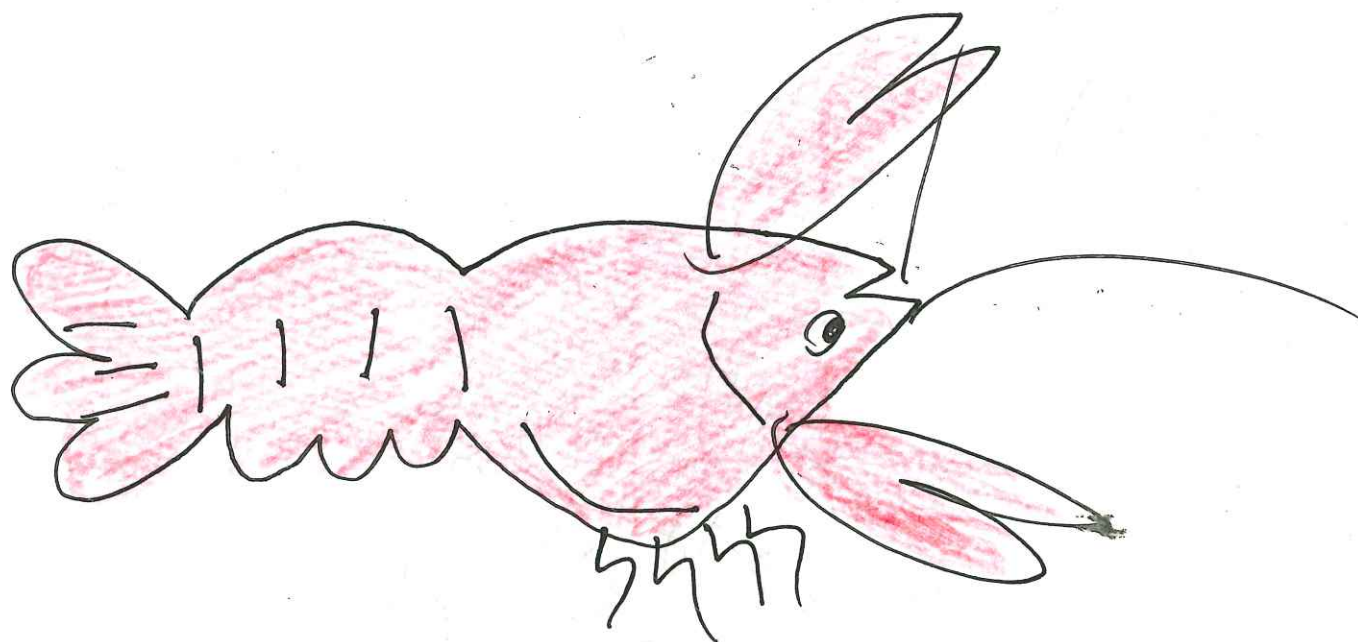
アメリカザリガニ科

— 生体について —

日本にやうのニホザリガニより
体が大きく、大きなハサ
ビを持ち、こうげきせい
がある。ウツガエルのえさとし
てアメリカから日本に持ち
こまれたものが、すてられたり
して全国でいさんしょうした。

大きさ やく12cm
せいそく 濃・ぬま
みずみ ない
うんご げん はん は
北アメリカ
日本では全国
かくちにい ちば

3



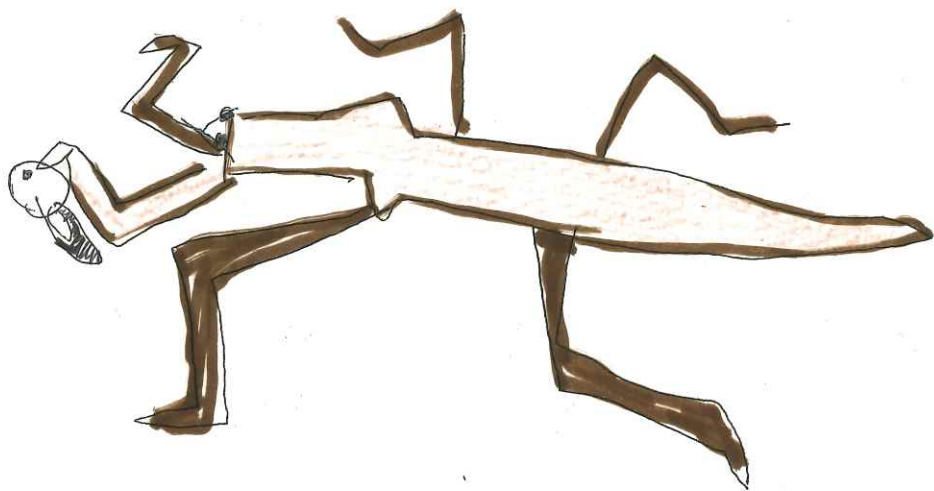
ミヅカマキリ

マイコウ科

一虫について
カマキリに似た水生
昆虫で、羽がある
ので、とってことので
きる。体と同じくらい
長さのこまかいかんが
り、水面に出して空気をとり入れる。

大きさ 約45cm にきゅう
かんはうくめす
せいそく せう ゆま
田んぼ 水
ぶん 全国各土地

4



サワガニ

ヌマエビ

足の数

8本

10本

生る地

一生、川ですごく

ようせきを海で"すごく"。

食べ物

水草

魚の死がい

くらす場所

ときどき、いくはがる

一生、水の中でくらす

体長

4~5cm(甲長)

2cm



さしこに

◎2年間、いろいろな田んぼに行きました。
た。9月も22日すぎたら、水中生物は
すっかりなくなっていました。きっと、
冬をすため近くのため池、水、
ぬまなどにいどうしていくでしょう。

◎2年間、いろいろな生物をつかま
えましたが、この2年間、発見する
ことができなかった魚や生物をいす。
— 2年間の間、とれなかった魚や生物 —

- タガメ ● タイコウチ ● コオイムシ
- ガムシ ● クロゲンゴロ ● ナマス
- ドジョウ ● タモロコ ● ウグイ
- トリサザガエル ● アカガエル ● ヒキガエル
- シュルゲンアオ ● オイカワ ● ウグイ
- ギギ ● ほか

田んぼや川にすま

生き物

かんさつ日記

